

める体制を構築できるよう支援してまいります。

次に、農業についてであります。昨年は、北海道の生乳生産目標が8000トン増で設定され、安定供給に向けた増産が維持されていますが、消費は依然として低迷しており、個体販売価格は微増で推移しているものの、飼料など資材価格の高止まりが続いています。

本年も北海道の生乳生産目標は2000トン増で設定され、加工原料乳補給金も微増と明るい要素もありますが、生産コストの増を補うまでには至っていないことから、北海道酪農振興町村長会議などによる中央要請のほか、農業協同組合をはじめ関係機関との連携を強化し、必要な施策を講じてまいります。

農業生産基盤については、道営事業による太田・片無去地区営農用水施設更新事業の継続やJ A釧路太田、J A浜中町への各種農業機械の導入についても支援してまいります。

飼料自給率の向上については、道営草地整備事業の継続により、良質な粗飼料の安定供給に努めてまいります。

担い手対策については、新規就農希望者誘致に向けたイベントへの出展や定住促進に向けた婚活支援の継続とともに、酪農実習生の受け入れや町内小学校の酪農体験学習を通じ、園などの地域資源を活用した魅力ある観光地づくりを進めてまいります。

また、道東自動車道の利用・誘客促進キャンペーンを、近隣市町村と共に実施してまいります。

さらに本年は、アヤメを慈しむ自治体で構成する全国市町村あやめサミットが、6月27日と6月28日の2日間、平成27年以来、11年ぶりに本町で開催されることから、アヤメを生かしたまちづくりの効果的展開について討議する会議の成功に向けて取り組んでまいります。

厚岸味覚ターミナル・コンキリエについては、総合観光雑誌「北海道じゃらん」の道の駅ランキング・飲食部門において、全道128駅中、15年連続1位を獲得するなど、観光中核拠点施設としての役割を果たしてきました。

来館者数や売り上げは伸びているものの、依然として物価高騰の影響は大きく、経営を圧迫していることから、引き続きマスメディアによる情報発信を行うほか、地場産品を活用した食の提供や厚岸の魅力発信に取り組んでまいります。

また、施設の適切な維持管理を図るため、展示販売冷蔵ショーケースやレストランのエアコンなどを更新いたします。

このほかの観光施設については、訪れる皆さんにとって利用しやすい

酪農の魅力を発信してまいります。また、新規就農時の経営安定を図るため、就農準備金や奨励金の支援を実施してまいります。

家畜防疫については、厚岸町家畜自衛防疫協議会との連携による予防接種や各種検査を支援するとともに、防疫対策の意識啓発に取り組んでまいります。

町営牧場については、より適正な預託牛の育成・管理を図るため、繁殖管理成績の向上と円滑な入退牧などの利用者ニーズに対応してまいります。また、ふん尿処理体制の充実に向け、処理施設の更新整備を継続してまいります。

次に林業についてであります。町有林の整備については、安定した事業量と、林業就業者の雇用の確保を図るとともに、持続可能な森林保全を推進するため、計画的な森林施策を進めてまいります。

私有林の整備については、厚岸町森林組合と連携し、民有林振興対策事業と森林環境譲与税を活用した補助制度を継続してまいります。担い手対策については、引き続き、森林整備担い手対策推進事業などを支援するほか、関係機関と連携し、林業就業者の育成・確保に努めてまいります。

町民の森植樹祭については、地域ぐるみの森づくり事業として、引き環境を整えるため、子野日公園内桜見本園の遊歩道整備を行うほか、原生花園あやめヶ原園内の整備を進めてまいります。

雇用については、町内就業を促進するため、ホームページやY P告知情報端末による町内求人情報の公開と、ハローワークとの連携による求職・求人情報提供サービス、事業者が雇用を維持するための各種制度の周知を引き続き行ってまいります。また、厚岸町雇用対策連絡会議を通じ、町内の企業や団体、厚岸翔洋高等学校と新規採用などの雇用対策に関する情報の共有を図るほか、町内事業所への就職を促進するため、企業説明会を開催いたします。



続き支援してまいります。

森林資源の利用については、町有林による林地残材を堆肥センターの水分調整材などに活用するほか、温水プールにおける木質バイオマスボイラーの燃料としてパルプ材を活用してまいります。



路網の整備については、道営事業により別寒辺牛2号線の整備を継続してまいります。

きのご菌床センターについては、原油価格の上昇や資材価格の高騰により、厳しい経営環境にある生産者を支援するため、菌床料の減額を継続し、良質な菌床の安定供給に努めるとともに、種菌メーカーと連携し、生産者へ経営の安定化に向けた情報提供や製造・培養技術の収集を行ってまいります。

このほか、専門技術の習得や季節労働者の通年雇用を促進するため、釧路地方職業能力開発協会などと連携し、各種研修機会の提供を行ってまいります。

労働環境の向上については、子育てや介護と仕事を両立し、安心して働くことができる職場づくりを促進するため、厚岸町商工会と連携し、働きやすい環境整備のための制度の情報提供を事業者などに行ってまいります。

### みんな笑顔で健やかに、つながり支え合おう

将来像の三点目は、「みんな笑顔で健やかに、つながり支え合おう」であります。

子ども・子育て支援については、『第3期厚岸町子ども・子育て支援事業計画』の基本理念に基づき、引き続き子どもを安心して産み育てることができるとともに、支援の充実を進めてまいります。

幼児教育・保育については、感染症対策や熱中症防止など児童の安全確保を図るとともに、保育所における全ての子どもへの保育料と食料料金の無償化および、幼稚園に対する副食費の助成を継続するほか、保護者の就労要件を問わず、保育所などに通っていない0歳6ヶ月から満3歳

てまいります。

新規生産者誘致については、地域との連携による研修体制支援や菌床の無償提供を継続してまいります。また、地域生産者間での意見交換の場を設け、地域一丸となり、きのこ産業での課題整理に取り組んでまいります。

次に、商工業、観光、雇用についてであります。商工業については、依然としてエネルギーや食料品価格などの高騰が続いていることから、先に発行した第7弾の「がんばろう厚岸応援券」により、商工業者の事業継続と町民の生活支援を図ってまいります。

中小企業の振興については、厚岸町商工会や金融機関と連携し、融資制度や設備投資への支援制度の活用を促進するための周知を行うなど、「厚岸町中小企業振興計画」に基づく各種取り組みを進めてまいります。また、「特産品等開発支援制度」のさらなる利用促進を図り、ふるさと納税返礼品にも繋がる魅力ある特産品開発を支援するとともに、各種催事において特産品のPRを強化してまいります。

観光については、「厚岸町観光振興計画」に基づき、厚岸観光協会や関係機関と連携し、自然や食を中心とした魅力ある観光事業を展開するとともに、厚岸霧多布昆布森固定公

未満の子どもを対象に、新たな通園給付である『子ども誰でも通園制度』をしんりゅう保育所において実施いたします。

また、妊娠前から子育て期にわたる包括的支援の取り組みについては、相談体制の充実を図るとともに、不妊治療費用の自己負担に対する助成制度や、妊娠出産などの支援の継続のほか、子育て応援アプリによる情報提供、出産祝い10万円の支給、子育て世帯の外出支援に対するハイヤー券の交付、ファミリーサポート利用料の助成、子育てお助けブックの配付、妊婦健康診査通院費の助成など、本町の独自事業を継続してまいります。

さらに本年度から子ども家庭センターを設置し、子どもとその家庭および妊産婦などを対象とした切れ目のない相談支援を強化してまいります。

福祉医療制度については、子育て家庭の経済的支援として、高校生までの医療費無償化を継続してまいります。

町民の健康推進については、『第3期みんなすこやか厚岸21』で掲げた「幼児のむし歯が多い」「成人の喫煙率が高い」「塩分摂取量が多い」の三点の重点課題をはじめ、各分野ごとに設定した目標値の達成と、さらなる健康意識の向上のため、本計画